

お元気ですか

Public Tomioka General Hospital

発行

公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

☎ 0274-63-2111 ☒ tomihp@mail.gunma.med.or.jp
☎ 0274-64-1406 ☒ <http://www7.wind.ne.jp/tomihp/>

地域医療連携だより

- クリスマスコンサートを開催しました
- 多数傷病者対応訓練を実施しました

花粉症。 アレルギー性鼻炎の 病診連携について

耳鼻咽喉科 松井 伸一郎

今年のスギ花粉飛散予想は例年の1.5倍だそうで、患者さんにはつらい季節の到来となりました。毎年様々なメディアで予防、薬物療法、代替医療などが報告され大多数の方が十分な知識を持っておられることと思われまので、今回は花粉症の病診連携についてお話しいたします。まず群馬県内の耳鼻咽喉科の現状についてですが、群馬大学から常勤医を派遣している病院が20年前に比べると半減しております。特に西毛地区で減少が著しく、高崎総合医療センター（旧国立高崎病院）、藤岡総合病院、碓氷病院などが常勤医撤退となり、西毛地区や埼玉北部の救急対応や、手術や入院治療を必要とする患者さんが当院に集中してきております。さらに以前は3人いた当院の耳鼻科常勤医も2人に減員となつてしまいました。そのためじっくりと患者さんの訴えを聞いている時間はなく、待ち時間は長くなる傾向にあります。効率の良い医療を実践するため、周知のように昨今は家庭医をもつていただき、まずその先生に相談し入院や手術、精密検査の必要があれば病院に紹介していただくという病診連携が提唱されております。花粉症についても予防や市販薬の効果が見られずに医療

機関での治療を希望する場合は、まず近くの耳鼻咽喉科医院を受診されては如何でしょうか。近医での診療の結果、通年性の鼻閉があつたり、副鼻腔炎や鼻茸（ポリープ）、鼻中隔彎曲症（鼻の中央の仕切りが曲がっている状態）が合併し薬物療法の効果が不十分であり、外科的治療（鼻茸の切除、副鼻腔炎に対する内視鏡手術、鼻中隔彎曲症の矯正術など）を希望される場合は紹介していただくのが良いと思います。今、この文章を書いているのは1月中旬ですが、病棟、外来ともインフルエンザや胃腸炎などが猛威をふるつており、花粉症の薬物治療目的のため外来で長時間待つことは決して得策ではないと思ひ提案させていただきました。



平成24年度 患者満足度調査 結果報告

当院は、地域中核病院として、より良い病院を目指しています。

そこで、入院患者様を対象に平成24年10月2日(火)から10月15日(月)の14日間、外来患者様を対象に平成24年10月5日(金)にアンケートを行いました。結果は次のとおりです。

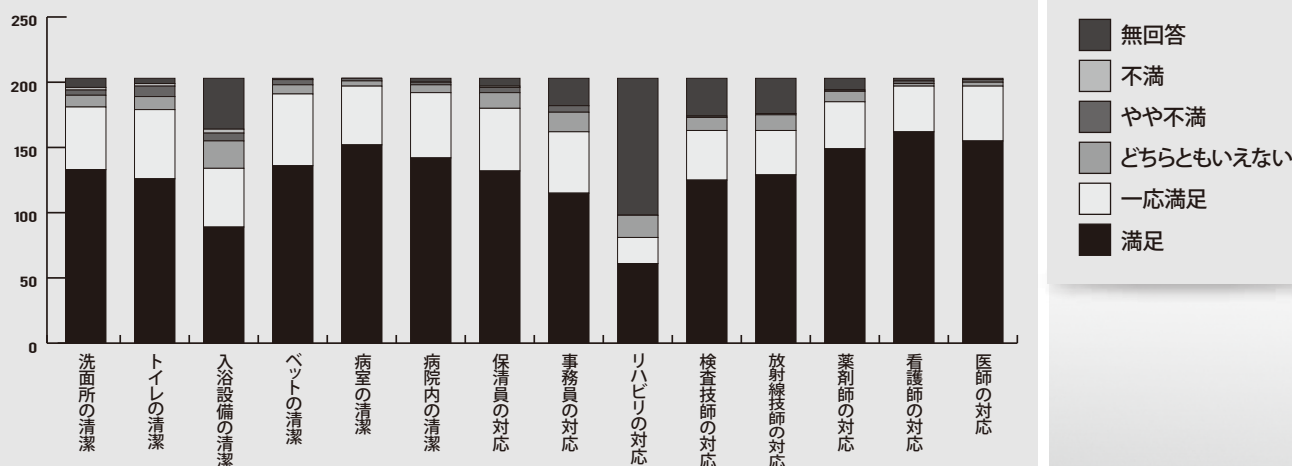
1 入院患者満足度調査結果報告

対象者

平成24年10月2日(火)～
10月15日(月)の期間に入院された方

アンケート回収数

(女性110人、男性89人、無回答4人)
入院経験については、75%の方が経験があり、25%の方が「初めて」でした。
当院の選択理由として「総合病院だから」、「他医療機関からの紹介」が22%、「医療設備が十分に整っている」が18%でした。
「職員の対応や施設の清潔」については、下記の結果となりました。



平成23年度→平成24年度(%)

各職員や設備について、「満足」と「一応満足」を合わせ平成23年度と今回を比較すると下記の結果となりました。これからもより良い医療サービスに努めて行きたいと思っています。



医師の対応	98→98	—
看護師の対応	97→98	△
薬剤師の対応	95→96	△
放射線技師の対応	92→92	—
検査技師の対応	91→94	△
リハビリの対応	82→83	△
事務員の対応	89→89	—
保清員の対応	92→91	▼
病院内の清潔	93→96	△
病室の清潔	92→97	△
ベットの清潔	95→94	▼
入浴設備の清潔	82→81	▼
トイレの清潔	93→90	▼
洗面所の清潔	92→92	—



2 外来患者満足度調査結果報告

対象者

平成24年10月5日(金)に
外来受診された方

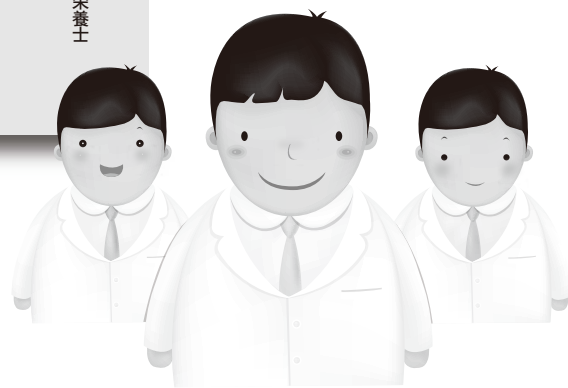
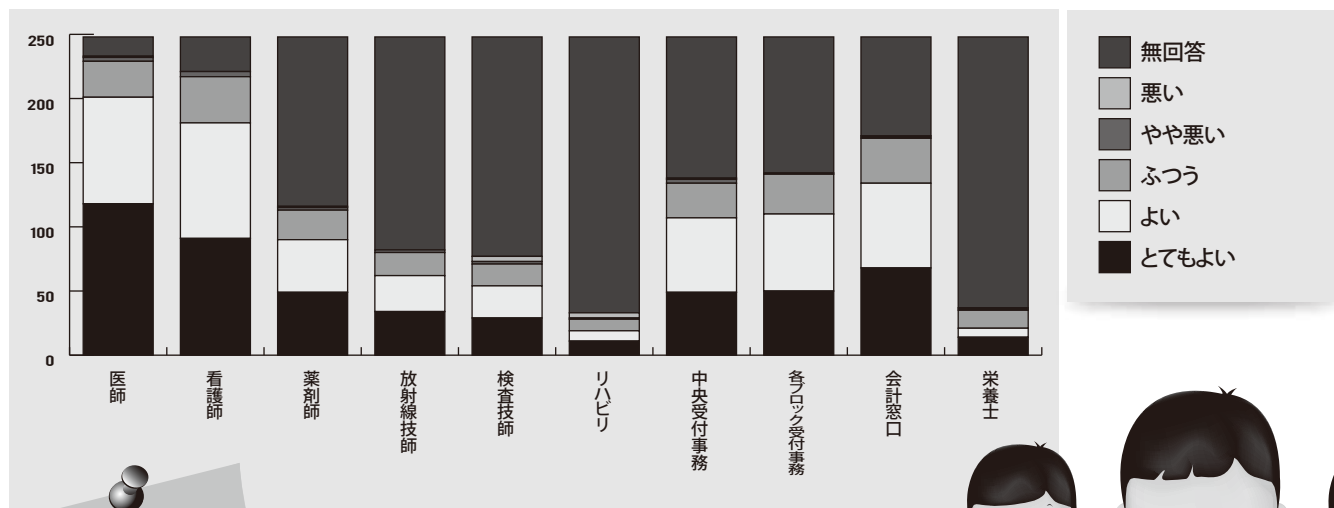
年齢は50代以上の方が74%でした。
当院の選択理由は、「総合病院だから」が28%、「紹介」が20%でした。

「予約・当日受付」別では、80%が予約でした。

受付から診療までの待ち時間は、1時間以内が65%、1時間半以内から以上が35%でした。患者様の感想は、「長いとは思わない」が25%、「やや長い」が33%、「長い」が16%でした。

「かかりつけ医がいます」と回答された方が55%で、お持ちでない方は45%でした。意見内容から病状や待ち時間等の理由により、病院と診療所を選んで受診していることがわかりました。

内科・消化器科の紹介制に関連し、「他院でかかりつけ医を持ちたい」と感じている方も多く、さらに病診連携の強化に努めていかなければならないと思いました。また、診療に対する不満や職員の接遇に対するご意見もいただきました。



各部署の対応は上記の結果となりました。患者様からいただいた貴重なご意見を参考に、より良い医療サービスができるよう努力していきたいと思っております。

また、お気付きの点がありましたら、院内に設置してあります「皆様の声」の箱にご意見を投函してください。個人的な回答はいたしません。毎月のエントランスホールの掲示板に回答をさせていただきます。

病院ボランティア募集!

車椅子を利用する患者様の自動車乗降援助、病院施設案内など病院でのボランティアをしてくださる方を募集しています。

お問合せ

病院サービス課
医療サービス担当

0274-63-2111



『命を救う』 救急看護認定看護師 としての思い

救急看護認定看護師 外来 秋元由紀

救急外来で多くの患者、家族と接する中で、看護師として『命を救う』とはどういう事なのか、医学的側面が多い救急医療の現場で看護師として出来る事は何なのか、『目の前にいる人の命を救いたい』という強い思いから救急看護の分野に興味を持ちました。

ある日突然発生し、急激な変化によって生命を脅かされている状況では患者本人だけでなく、家族の方々も不安や危機感をいだきます。この様な救急状況では患者本人と言語的意思疎通が出来ない事もあり、意思決定が家族や保護者にゆだねられる事もあります。さらに、病気や怪我により家庭や仕事に関する問題も発生し、家族の方々の精神的負担は増幅します。

この様な救急状況で、『命を救う』と言う事は単に『命が助かる』と言う事に留まらず、社会復帰なども見据えて身体的、精神的障害を最小限に留める様な援助を、患者だけでなく家族の方々にも提供するという事が看護師として必要な援助ではな



いかと思ひ、医療者と言う立場でありながらも、患者、家族の方々の身近な存在となり、その立場に寄り添い支えて行きたいと思ひました。
緊迫した場面も多く、一日中走り回っている様な事もある救急医療の現場ですが、私の原点である『目の前にいる人の命を救い

『院内トリアージ』を紹介します

救急外来には昼夜を問わず様々なニーズを持った方々が受診し、来院方法も様々です。

重症患者が歩いて来院するなんて事も少なくありません。そこで当院救急外来では、昨年の4月からトリアージナースの育成やシステム作りを始め、現在11名のナースが救急外来で活躍しています。
『院内トリアージ』は災害時のトリアージとは異なります。『院内トリアージ』とは患者さんの主訴や身体状況から緊急度・重症度の高い患者が優先的に診療を受けられる様に診察順位を判断していきます。

救急外来では
緊急性の高い患者を
優先する為
トリアージを行います



当院救急外来を受診される際には、診察の順番が前後する事があります。皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

たい』と言う思いを原動力にし、身体的、精神的、社会的な問題までの包括的な援助と言う部分で看護の視点を際立たせ、少しでも患者、家族の皆様が必要としている援助を提供していける様に努力していきたいと思ひます。



富岡地域医療事務組合 地域医療連携だより

● クリスマスコンサートを開催しました

富岡東高校音楽部と富岡オカリナクラブによるコンサートがエントランスホールにて開催されました。

当日は入院患者や一般者など100名を超えるかたが集まり、美しい歌声や音色に聴き入っていました。

また、甘楽教会愛光会の聖歌隊による慰問が行われました。気品高い賛美歌が病棟を包み込み、入院患者へなごみの時間を与えていただきました。



● 多数傷病者対応訓練を実施しました

大規模な災害が発生したときには、多くの傷病者が病院に押し寄せ、普段の診療体制では対応できなくなります。このようなときに備えて多数傷病者に対応する訓練を今年も実施しました。

今回の訓練ではアクションシートの運用をもとに、院内の動線の確認を目的に行いました。

※アクションシートとは、大規模災害が発生したときに、まず何をすれば良いのかが書いてあるシートです。

